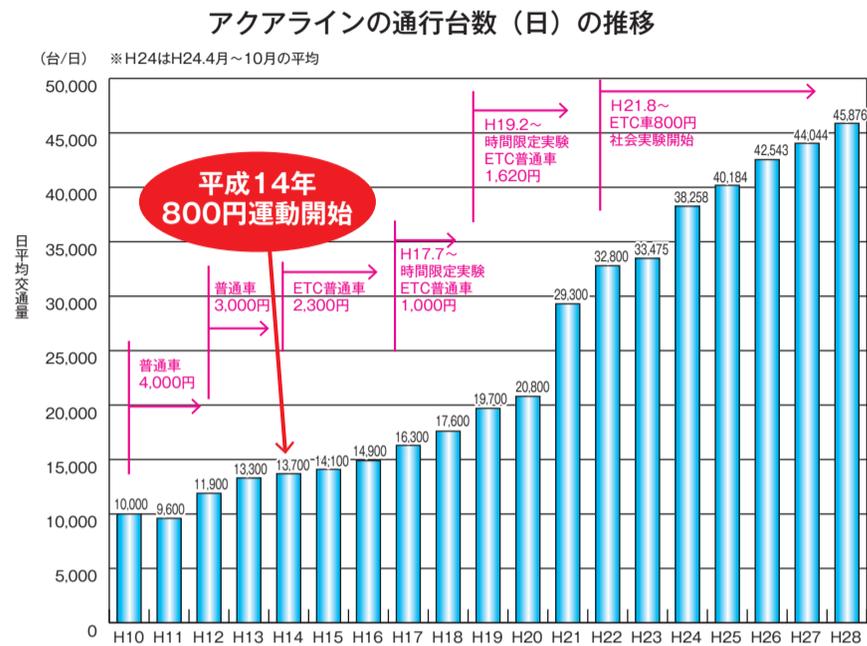


# 高橋ひろしレポート

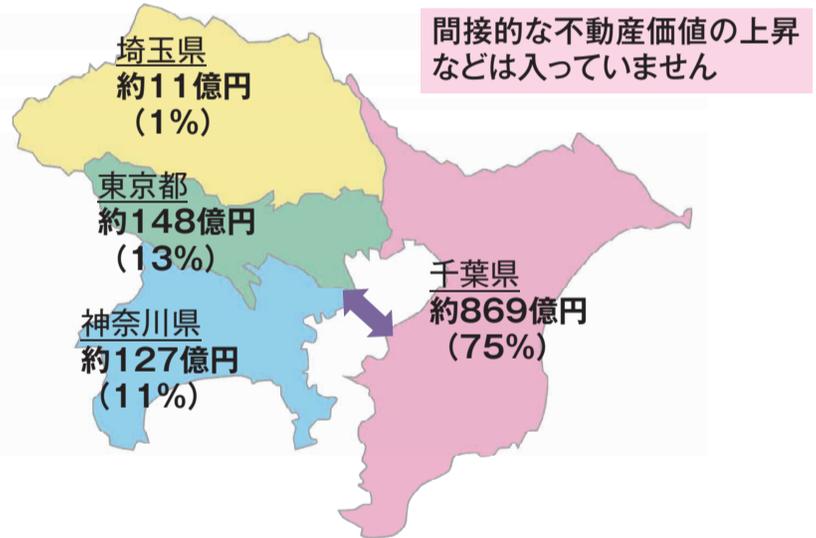


発行人：民進党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉県千葉市中央区市場町1番5号 高橋 浩 事務所 〒292-0043 木更津市東太田1-9-30 TEL0438-98-0800 FAX0438-98-0833

まだ 固定化されていないアクアライン800円を恒久化に!!!



首都圏全体の(直接的)経済波及効果は  
**約1,155億円**



**ETC正規の通行料金は「まだ」1,920円です**

現行料金(2014年4月から) 東京湾アクアライン(川崎浮島JCT-木更津金田IC) 通行料金

| 車種    | 非ETC通常料金 | ETC通常料金       | ETCアクアライン割引 |
|-------|----------|---------------|-------------|
| 普通車   | 3,090円   | <b>1,920円</b> | 800円        |
| 中型車   | 3,700円   | 2,280円        | 960円        |
| 大型車   | 5,090円   | 3,070円        | 1,320円      |
| 特大車   | 8,490円   | 5,010円        | 2,200円      |
| 軽自動車等 | 2,470円   | 1,570円        | 640円        |

経済を活性化させるためには人口を増やす必要があります。そしてこの地域が未来に持続可能な地域として残って行けるのかと云う、試金石ともなります。房総の人口を増やすと共にアクアライン800円恒久化にむけて、これから皆で努力をしていけたらと思います。

1月26日に、千葉県から東京湾アクアラインの通行料を800円に引き下げた経済波及効果が、2014年の4月



発表

経済効果1155億円(2年6ヶ月間)、千葉県負担5億円(1年間で森田知事が勇気を出して投資をした結果だと思っています。)

から16年9月までの期間に首都圏1都3県で1155億円に上ったとの調査結果が発表されました。その中で観光消費への効果が最も大きく、周辺での生産増や設備投資にもつながったとの事であり、2015年度の通行台数は1日平均4万4000台と、値下げ前の2008年度からみてなんと2倍に増えたこの事

でありました。この値下げは、2009年8月から2014年3月末まで、国と県が折半で負担する形で千葉県は15億円を負担する形で行われ、アクアラインはETC搭載車の通行料を、普通車で2320円から800円に引き下げる社会実験を実施してあります。そして2014年4月からは正

規の通行料がETC搭載車で1920円となりましたが、千葉県の負担を5億円に下げて頂いて引き続き800円の通行料を継続している訳であります。

報告書によると社会実験中の14年4月～16年9月の2年半の経済波及効果は1155億円であり、最も大きい観光消費は968億円あります。

「森田健作知事」は定例記者会見でこれらの調査結果をうけて「5億円は千葉への投資であり、地域活性化や人口増加につながっている。800円は固定化されているわけではないので、地元も一丸となって継続させるという盛り上がりを見せて頂きたい」と語られました。

# 県民の声を聴かない県議会!?

## ● 県議会議員のボーナス 増額決定！ ～千葉県議会議員の年収、都議会議員を上回る！？～

平成28年12月県議会に、県議会議員など特別職のボーナス(期末手当)を0.1月分(年間4.20月→4.30月)引き上げる議案が上程されました。

私達は、現在の大変厳しい社会経済情勢、地方議会に対する住民の皆様の厳しい視線などを踏まえ、議員自らが身を切ることが不可欠であり、ボーナスを引き上げることについて県民の皆様の理解は到底得られないと考え、この議案に反対しました。

しかし、採決の結果、大変残念ながらこの議案は賛成多数で可決されてしまいました。

なお、平成29年2月22日、東京都では知事が昨年10月に自らの給与などを半減させたことを受けて、議員のボーナスを引き上げるどころか、議員報酬の2割削減(平成29年4月から1年間の特例措置)などを盛り込んだ条例が全会一致で可決・成立しました。これが実施されれば、千葉県議会議員の年収は、東京都議会議員の年収を上回ってしまうこととなります。

私達は、県議会議員の報酬・ボーナス等を含めて、県議会のあり方そのものを見直していく必要があると考えるため、「県議会のあり方検討会」等の設置を引き続き訴えていきます。また、都議会と同様に県議会自らが率先垂範して変わる姿勢を、県民の皆様に示していく必要があると考えます。

東京都議会とは真逆の判断をして議員のボーナスを引き上げた千葉県議会、県民の皆様の声に大きく逆行していないでしょうか。

議員ボーナス増額に対する賛否

| 主な会派 | 賛否 |
|------|----|
| 自民   | ○  |
| 民進   | ×  |
| 公明   | ○  |
| 共産   | ×  |
| 市社無  | ×  |

## ● 政務活動費透明化の請願 採択されず！ ～透明化は先送りへ～

このところ、大変残念ながら、全国的に政務活動費をめぐる地方議員の不祥事が数多く報道され、住民の皆様の政務活動費に対する不信感が高まっている状況にあります。

こうした中、平成28年12月県議会に2件の請願が提出されました。これらは「政務活動費収支報告書等をホームページ上で公表すること」、及び「政務活動費収支報告書等を電磁的媒体でも交付すること」を願意としていました。

私達は、住民の皆様の政務活動費に係る不信感を取り除くためには、各議員の政務活動費の使い道について、誰もがいつでも閲覧できる状態にすること、そして、政務活動費が政策立案の経費として正しく使われていることが確認できる状態にすること、であると考えます。

そのためには、請願にあるように政務活動費の収支報告書等をホームページで公表すること、またそれらをCD・DVD等の電磁的媒体でも交付することは、用途の透明性を確保し、適正な支出を促す観点からも、極めて有効な手法であると考えます。このため、私達は、これらの請願の紹介議員になり採択すべきとしました。

しかし、県議会における採決の結果、過半数の賛成を得ることはできず、大変残念ながらこれらの請願は平成28年12月議会及び平成29年2月議会で採択されず、継続とされました。つまり、千葉県議会としては、現在、請願にあるような政務活動費の透明化を図る必要はない、という判断をしたものと考えられます。

はたして、この政務活動費の透明化に係る千葉県議会の判断は、県民の皆様の声を代弁しているといえるのでしょうか。

政務活動費透明化請願の紹介議員

| 主な会派 | 紹介議員 |
|------|------|
| 自民   | ×    |
| 民進   | ○    |
| 公明   | ×    |
| 共産   | ○    |
| 市社無  | ○    |

### 【資料】

## 料金引下げ継続による企業への影響

○料金引下げ継続を契機として実施された設備投資による経済波及効果は、約69億円

(千葉県:約36億円、神奈川県:約2億円、東京都:約31億円)

➢料金引下げ継続を契機に、約1割の企業が設備投資を実施

○料金引下げ継続が追い風になり増加した生産額による経済波及効果は、約118億円

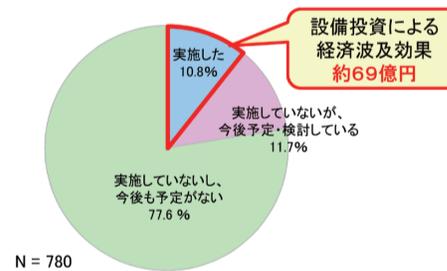
(千葉県:約105億円、東京都:約13億円)

➢料金引下げ継続により、約2割の企業が売上げ増加を実感

➢企業からは、来客が増えているなどの意見が寄せられた



■料金引下げ継続による平成26年度以降の設備の新設・更新・拡大等の実施有無



### 企業の声

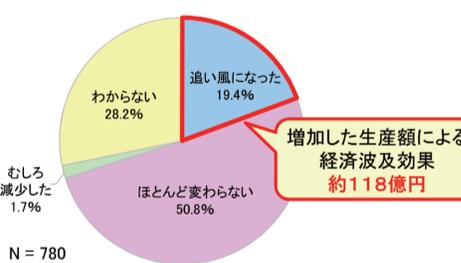
・アクアラインを経由した首都圏への物流アプローチを前提に企業立地しました。



(非鉄金属)

出典：アンケート調査結果 平成28年11月4日～平成28年11月22日実施

■料金引下げ継続による売上への影響



### 企業の声

・東京から1時間強で来られる利便性で内房への移住や、セカンドハウスを購入される方が増えている。



(不動産業)

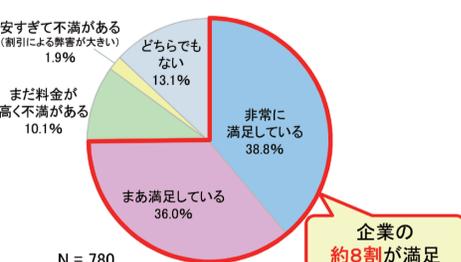
・千葉県外からのゴルフ客が増加して、来店するお客様が増えつつある。



(サービス業)

出典：アンケート調査結果 平成28年11月4日～平成28年11月22日実施

■企業の料金引下げ継続に対する満足度



### 企業の声

・東京、神奈川方面での仕事もできるようになった。営業圏内に入った。



(建設業)

・内房、外房への出張時、湾岸廻りで行くより道路が空いており、時間が節約できる。



(サービス業)

出典：アンケート調査結果 平成28年11月4日～平成28年11月22日実施